

地球の未来のため 私たちができること OUR SUSTAINABLE CITY



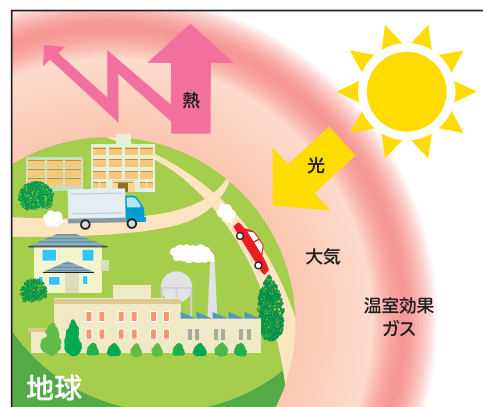
平成29年12月10日、京都議定書誕生20周年を記念して開催した「地球環境京都会議2017」において、世界18箇国・地域から約1,000名の方々の御参加の下、パリ協定が掲げる今世紀後半の温室効果ガスの実質排出ゼロの実現に向けて、温室効果ガスの大排出源である都市の責務を示した「持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言」を発表しました。



地球温暖化の現状

○「地球温暖化」って？

地球温暖化とは、二酸化炭素（CO₂）などの熱を吸収する性質を持つ「温室効果ガス」が人間活動に伴って増加する一方で、森林の破壊等によって温室効果ガスの吸収量が減少することにより、大気中の温室効果ガスの濃度が高まり、地球の気温が上昇する現象のことです。

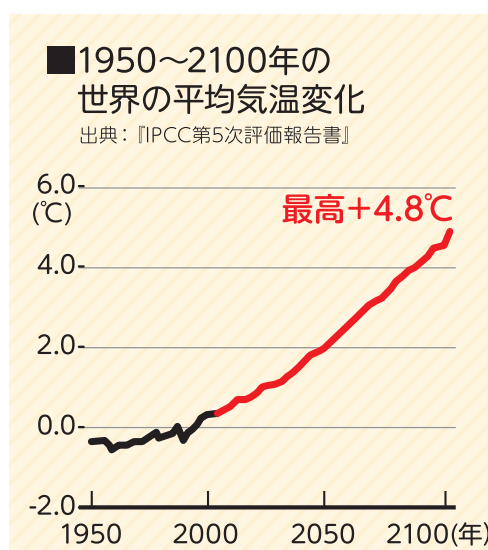


○ 地球の未来はどうなる？

1880年から2012年にかけて、世界の平均気温は約0.85℃上がりました。

今後、有効な温暖化対策をとらなかった場合、世界の平均気温は、現在^(※)から21世紀末にかけて最高4.8℃上昇し、京都の気温は現在の屋久島（鹿児島県）並みになる可能性があるとして予測されています。

※ 1986年から2005年の平均気温



○ 京都市の気温も上昇中！

京都市においても、平均気温が100年当たりで2.0℃上昇^(※)し、大雨や集中豪雨が増加傾向にあるなど、気候変動による影響が現れてきています。

サクラの開花日は50年当たりで7.6日早まり、カエデの紅葉は約2週間も遅くなっています。もし、このまま温暖化が進めば、私たちの暮らし、文化、健康やまちの景観にも大きな影響があるかもしれません。

※ 気候変動の影響だけでなく、都市化に伴うヒートアイランド現象による影響もあります。



持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言（概要）

現在、世界人口の約半数が都市に住み、今後も都市への人口集中が予測されています。そのため、効果的に温室効果ガスを削減するためには、都市における地球温暖化対策が特に重要であるといわれています。

京都市では、パリ協定が目指す今世紀後半の脱炭素化に向けて、「2050年の世界の都市のあるべき姿」を提起し、「持続可能な都市文明の構築」を目指すことを宣言しました。この宣言の理念を京都議定書誕生の地である京都から世界に向けて発信していきます。



京都議定書は、人類史上における画期的な地球環境に関する約束であり、その誕生に当たっては、京都の市民の暮らしの文化、まちの姿が合意を導いた。

そして、京都議定書は全世界の人々が参加するパリ協定へと大きく飛躍し、世界は今世紀後半の脱炭素化を目指すこととなった。

現在、地球の陸地面積の2%を占めるに過ぎない都市には、世界の人口の約半数が暮らししており、エネルギー消費量の6～8割、炭素排出量の4分の3を占めている。都市化の進展により、2050年には、都市の人口は世界の人口の3分の2を占めると予測されている。

今世紀後半の脱炭素化の達成に向けて、都市は、周辺地域との連携を深めながら、次に示す「2050年の世界の都市のあるべき姿」を実現することにより、環境と調和した持続可能な都市文明を構築しなければならない。

<2050年の世界の都市のあるべき姿>

- ・生命の源であり炭素吸収源でもある自然との共生が実現している。
- ・ものを大切にする「もったいない」、「しまつ」の精神などに基づく生活文化の再構築により、市民の価値観やライフスタイルの転換が進んでいる。
- ・環境教育・学習の促進により、さまざまな問題を自分自身の問題として捉え、自ら行動し、持続可能社会を構築する「担い手」が育成されている。
- ・脱炭素化に貢献する技術革新と同時に、気候変動による影響への適応策が十分に進んでいる。
- ・廃棄物に含まれる有用金属等を再資源化する「都市鉱山」の活用などにより、循環型社会が構築されている。
- ・省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの利用が飛躍的に拡大し、都市によるエネルギー自治が実現している。
- ・都市交通システムの高度化により、環境負荷の低減と利便性の向上が両立している。
- ・持続可能な社会の実現に向けた取組が貧困や格差などの社会問題の平和的解決に貢献している。

※ 京都宣言の全文についてはホームページをご覧ください。（次ページ参照）

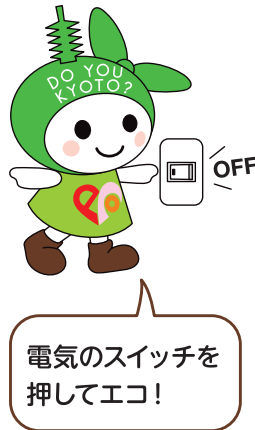
あなたは何かができますか？

○ DO YOU KYOTO ? (環境にいいことしていますか?)

京都市では、健全で恵み豊かな地球環境を未来の世代に引き継ぐため、「DO YOU KYOTO?」を合言葉に環境にやさしい取組を進めています。

環境にやさしい行動は、実はとっても簡単！

温室効果ガスを削減するためのライフスタイルについて考え、行動してみませんか。



京都市の環境マスコット
エコちゃん

○ みやこ 京エコロジーセンターで 環境を学んでみませんか！

京都議定書が誕生したCOP3の開催を記念して開設した同センターでは、体感しながら環境問題を学べる展示や講座、地域の環境保全活動のサポートなど、様々な活動を行っています。

京エコロジーセンター

京都市伏見区深草池ノ内町13

青少年科学センターすぐ隣！

開館時間：9～21時

(1・2F展示は17時まで)

休館日：木曜日

(祝日の場合は翌金曜日)、
年末年始

入館料：無料



御意見をお待ちしています

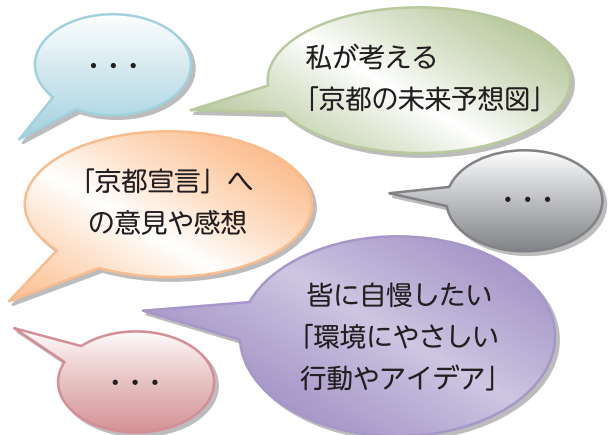
ホームページで受付中 (FAXも可：075-211-9286)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000229986.html>

持続可能 京都宣言

検索

※いただいた御意見はホームページ
等で紹介する場合があります



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です
京都市はSDGsを支援しています

平成30年3月発行

京都市環境政策局地球温暖化対策室

京都市印刷物 第295102号

この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！

